

Title	江戸時代の行政組織における能力主義について
Sub Title	
Author	岩本, 俊行 大藪, 毅
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2008
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2008年度経営学 第2296号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002008-2296">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002008-2296</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	大藪 研究会	学籍番号	8073170	氏名	岩本 俊行
(論文題名)					
江戸時代の行政組織における能力主義について					
(内容の要旨)					
<b>【本論文の研究対象】</b> 江戸時代の行政組織である幕府・諸藩の人的資源管理に関すること					
<b>【本論文の目的】</b> 1. 幕府・諸藩における能力主義の存在を明らかにする。 2. 上記の研究を通じて得たことから地方自治体への提言を行う。					
<b>【本研究の意義】</b> 1. 人事制度に対する見る目を養う。 2. 先人の功績を現代に生かす。					
<b>【本論文の研究方法】</b> 事例研究					
<b>【本論文の結論】</b> 1. 江戸時代の行政組織に能力主義は存在していた。 2. 環境が変われば組織に求められる能力も変化し、人材供給の形も変化すべきである。 3. 行政改革の成功に必要なのは既存勢力を活かすことである。					